

【第 3 編 資産運用 2-41】投資でも注目される SDGs とは(14)

投資商品の判断基準 深刻な海洋問題を悪化させないために

(1)皆さんに考えてほしいこと

①海の豊かさを守ることについて、みなさんなら、
どのようなことを考えるでしょうか？

②そして、その取り組みを実行することのできる企業とは、
どのようなところがあるでしょうか？

(2)地球表面積の大半は海面

①海面は、地球の表面積の 70%以上を覆っている

②海洋生物は確認できるだけで約 20 万種いるといわれている

③地球の海面によって、我々は地球で住める場所にするシステムを構築しているが…

(3)何が問題視されているのか

①海洋汚染や資源の乱獲といった問題が長年にわたって指摘されながら、
対策が遅れているのが現状

→国連食糧農業機関（FAO）によれば、マグロやメカジキなど

地球上で最大級の魚の一部は個体数が過去水準の 10%を下回っている

※ データは、2016 年時点

②遅れの理由は、管理の難しさ

③人間の活動によって大きな影響を受ける海洋面積は、全体の約 40%

④各国が管理する「領海」や 200 海里経済水域を除いた「公海」も含まれ、
保全に関する政策合意を策定が困難

→200 海里経済水域とは、国連海洋法条約により「排他的経済水域」と認められた沿岸
海域のことで、国の管轄権を持つ経済水域を示す

⑦漁業、水産養殖及び観光の持続可能な管理などを通じ、
小島嶼開発途上国及び後発開発途上国の海洋資源の持続的な利用による
経済的便益を増大させる

⑧海洋の健全性の改善と、開発途上国、特に小島嶼開発途上国および
後発開発途上国の開発における海洋生物多様性の寄与向上のために、
海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準・ガイドラインを
勘案しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、及び海洋技術の移転を行う

⑨小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する

⑩（省略）…海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用のための
法的枠組みを規定する海洋法に関する国際連合条約（UNCLOS）に
反映されている国際法を実施することにより、
海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用を強化する

(6)海洋と二酸化炭素

①海洋は、人間が作り出す二酸化炭素の約 30%を吸収し、
産業革命以来、海洋酸性化は 26%進んでいる

②陸上からの排出が主原因である海洋汚染は危険な水準に到達

③海洋 1 平方 km 当たり、平均 1 万 3000 個のプラスチックごみが見つまっている

(7)海洋改善と維持に大切なこと

①海洋と沿岸の生態系を持続可能な形で管理する

②陸上活動に由来する汚染から海洋を守る

③同時に海洋酸性化の影響に取り組む